

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)乙第1769号	氏名	神田宗武
論文審査担当者		主査教授	朝長 万左男 印
		副査教授	松山 俊文 印
		副査教授	江石 清行 印
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、glutaredoxin (GRX) を高発現させたマウス胎児発生期由来の心筋芽細胞株(H9c2-GRX)を用い、サイトカイン刺激による増殖において、レドックス機構の果たす役割の解明を目指したものであり、十分に妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 リンガンドである PDGF-BB の結合によるレセプターPDGFR のリン酸化機構について、low molecular weight protein-tyrosine phosphatase(LMW-PTP)の活性及び構造変化を、siRNA により阻害する実験法などにより精密に検証したものであり、妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 PDGF-BB による PDGFR のリン酸化の制御に、GRX を介して LMW-PTP が強く関与しているとする実験結果は、その正・負の制御面から綿密に実証されており、高く評価できる。 また心筋芽細胞における、GRX によるレドックス機構制御の生物学的意義についての考察も十分妥当である。</p> <p>以上のように本論文は、まだ未解明の部分が多い、心筋細胞、特にその発生過程にある胎児性心筋芽細胞株の増殖機構におけるサイトカイン刺激時のレドックス機構の重要性を明らかにしたものであり、審査委員は一致して博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。